

1. 2013年度報告

2013年度は下記の項目を事業目標に掲げました。

1. Waseda Vision 150 に基づく高等学院の将来構想の具体化
2. 日常教育活動全般の充実と改善
3. 中学部と高校の円滑な接続
4. 高校新教育課程の適切な実施
5. Waseda Vision 150 で改革を進める本部・各学術院との連携強化
6. より開かれた学校に向けての施策
7. 第2期工事の順調な進捗と第3期以降の展望
8. 高等学院教育環境整備充実募金最終年の活動
9. 大地震への備え、および生徒教職員の安全確保

建学の趣旨をふまえて、「幅広い教養」、「専門分野への深い探究心」、「高いコミュニケーション能力」を育む教育の観点から、新教育課程を通じ、新しい取組を始めました。確実に基礎力が身につくよう英語、数学の授業時間数を増加させるとともに、TOEFLを本年は高校1年生、3年生全員が受験しました。また、問題発見・課題解決型の学習に直結する新たな内容で「総合的な学習の時間」を構想しました。新教育課程のなかで基礎力の確保を基本とし、早稲田大学各学部において活躍し、さらに学部卒業後、日本・世界全体を視野に入れて果敢に取り組んでいく生徒が育成されることが大切です。Waseda Vision 150 について教諭会で教員全体が共有し、早稲田全体の改革の方向性を理解することに取り組みました。

伝統的な「知」を継承するだけでなく「知」を創造する経験を直接・間接に積み重ね、大学進学後に役立てることが大切です。多方面で学部・大学との連携を進め、学術・スポーツ・国際交流面などにおいて早稲田全体のリソースを生かした教育をおこない、早稲田が国際的に主導的な役割を果たす中核たる人物を育成してきました。学部における中国等とのダブルディグリープログラム(北京大学、復旦大学、台湾大学、シンガポール国立大学)への卒業生の参加や、アメリカンフットボールでの全国大会4連覇達成などは、大学との連携の成果の例です。中学部でのアウトリーチプログラムなどを含め、大学全体との連携を深めました。

高等学院では、学校ごとの協定、あるいは外務省など公的機関を通じての協定を、台湾、ドイツ、韓国、フランス、中国などと結んでいます。今後さらにこれを増やして生徒の海外派遣や、海外からの訪問等の受け入れ増を目指していくこととし、2013年度には新たにオーストラリア・メルボルンに Xavier College という優れた海外協定校を得ることができました。また、2013年末からは文科省によるスーパーグローバルハイスクール(SGH)採択に向けて準備を開始し、3月末に指定されました。

<http://www.waseda.jp/gakuin/koukou/jimu/sgh.html>

2. 2014年度計画

早稲田大学 Waseda Vision 150 核心戦略⑥早稲田らしさと誇りの醸成を目指して

4月末に70号館入り口に藪野健先生の200号の絵画が掲げられました。これまでも大隈老公の胸像や教旨などが建立されていますが、授業や人事交流などのソフト面だけでなく、ハード面でも中等教育の段階から早稲田としての一貫性を感じられるような仕組みは、生徒の早稲田人としての意識向上に資すると思われまます。2014年度も Waseda Vision 150 の核心戦略に謳われている諸点も念頭に置き、その具現を目指します。急速な時代変化に対応すべく施策を実施していきます。

新教育課程の適切な実施

新教育課程が高校2年次まで進行し、日々の授業では、各教科・科目において基礎力養成、英語運用能力の向上を念頭に置きながら、同時に問題発見課題解決の力を培うことも図っていきます。

活動のさらなる多様化

新たに2013年3月にオーストラリア・メルボルンに新たな海外協定校(Xavier College)を得ました。これまで高等学院が培ってきた自学自習、自主自立を育てる環境、たとえば部活動、プロジェクト活動、国際交流、SSHなどもさらに充実させるとともに、2014年度に新しいプログラムへの取組みを始めます。

グローバルリーダーの育成を目指したプログラムの開発と推進

文部科学省より、2014年度に開始されたスーパーグローバルハイスクールに指定を受けることができたことは、高等学院の将来構想の実現、さらに大学のグローバル化とも呼応しているという意味で、大きな意義があります。教育課程内外での生徒諸活動にもより多様な展開が期待でき、選択の幅も広がり、中学部への波及効果も期待できます。同指定を契機に、学校全体グローバルリーダーとして世界に貢献する高い志を持ち、社会を支える学生・生徒を育てる仕組みをさらに強化するために、7つのプログラム(①総合的な学習の時間における探求型授業、②第二外国語による横断型プロジェクト、③「グローバルセンター化」の取組、④企業・NGO等との協働、⑤「高等学院版オンデマンドコース」の開設、⑥海外フィールドワークを通して学ぶ「移民との共生」、⑦早稲田大学の国際交流プログラムに参加)を準備、具体化、実行に向けて始動します。5年後の2018年度には全生徒が自主研鑽活動や社会貢献活動に参加、また高校・大学在学中に留学・海外研修への参加率を100%とするなど、5カ年程度の中期目標を立て実現を図っていきます。Waseda Vision 150 に掲げた目的を支援・達成する役割も大きく、その初年度として予定している上記プログラムとその準備活動を、着実に実行していくことが大切であると思われまます。